

ナンテン

【 区画⑦(34), 区画②(149) 】

学名	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	分類	メギ科ナンテン属
分布	日本中部および南部以南	樹高	2~3m程度の常緑低木

〈特徴等〉

名前の由来	・ 南天燭あるいは南天竹の南天から名づけられた。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・ 6月頃に茎の先に多数の小さい白い花を咲かせる。		
結実等	・ 秋から冬にかけて多数の球形の赤い果実をつける。		
その他	・ 暖かい常緑樹林にしばしば野生化するが、普通は装飾植物として庭園に植えられる。 ・ 3回羽状複葉と呼ばれる珍しい葉の形をしている。		

〈写真〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (4/3)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 468.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 258.